

## 気候情報

### 2009年9月の日本の天候

○全国的に日照時間が多く、記録的な少雨となった

○沖縄・奄美で記録的な高温となった

#### 9月の天気概況

全国的に天気は数日の周期で変わったが、高気圧に覆われ晴れる日が多く、日照時間が多かった。低気圧の発達はなく、秋雨前線の活動が弱かったため、全国的に降水量が少なかった。東・西日本日本海側では、地域平均の統計を始めた1946年以降9月としては最も降水量が少なかった。また、全国の気象官署のうち19地点で統計開始以来の9月としての少雨の記録を更新した。気温は、北日本から西日本にかけては、上旬と中旬は寒気が南下したため低温となるところが多かったが、下旬には平年を上回った。一方、沖縄・奄美では、月を通して亜熱帯高気圧に覆われることが多く、顕著な高温が続き、1946年以降、9月としては最も気温が高かった。

**上旬：**全国的に天気は数日の周期で変わったが、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。低気圧の発達はなく、前線の活動も弱かったため降水量は少なかった。上空に寒気が入ったため北・東日本では低温となった。一方沖縄・奄美では亜熱帯高気圧に覆われ高温となった。8日は、台風第12号が八丈島の南を通過したが、大きな被害はなかった。

**中旬：**全国的に天気は数日の周期で変わったが、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。低気圧の発達はなく、前線の活動も弱かったため降水量は少なかった。上空に寒気が入ったため北日本から西日本にかけては低温となった。一方沖縄・奄美では亜熱帯高気圧に覆われ高温となった。19日は、台風第14号が小笠原諸島付近を通過したが大きな被害はなかった。

**下旬：**全国的に天気は数日の周期で変わったが、降水量は少なかった。太平洋高気圧が日本付近で勢力を強めたため、全国的に高温となった。28日に低気圧が日本海を通過した後は前線が本州南岸沿いに停滞したため、東・西日本では天気がぐずつき、一部で大雨となった。

#### 9月の気候統計

**月平均気温：**沖縄・奄美でかなり高かった。一方、北日本では低く、東日本と西日本では平年並だった。

**月降水量：**全国的にかなり少なく、本州以南では、平年の40%未満となったところが多かった。

**月間日照時間：**全国的に多く、特に北日本日本海側と西日本ではかなり多かった。東日本太平洋側と西日本では平年の120%以上となったところが多かった。

(気象庁観測部統計室)

#### 9月の記録(1位更新のみ)

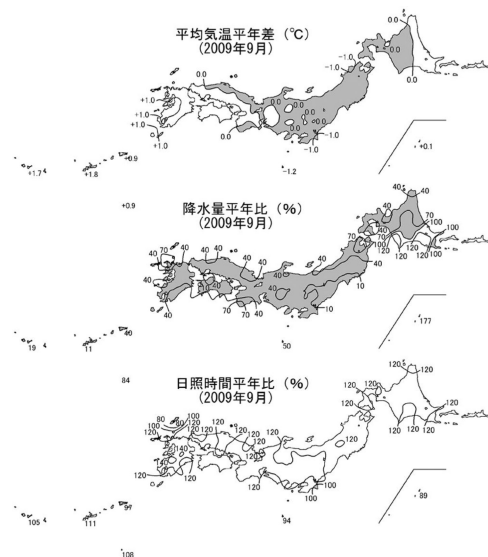
##### ・月平均気温高い方から(°C)

名護 28.6 那覇 29.0 久米島 28.7  
宮古島 28.8 石垣島 29.4 西表島 28.5  
与那国島 28.4

##### ・月降水量少ない方から(mm)

大船渡 20.5 石巻 12.0 仙台 12.0  
福島 9.0 若松 17.0 白河 7.5 小名浜 15.5  
相川 32.5 高田 46.0 宇都宮 33.5  
水戸 8.5 前橋 20.5 千葉 46.0  
四日市 52.0 奈良 36.5 松江 56.5  
宇和島 15.0 宿毛 48.5 名護 12.0

#### 2009年9月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。